

報告事項：平成30年度文化財調査等経過について

1. 大湫神明・白山神社例祭

■山車の幕類調査

○調査日

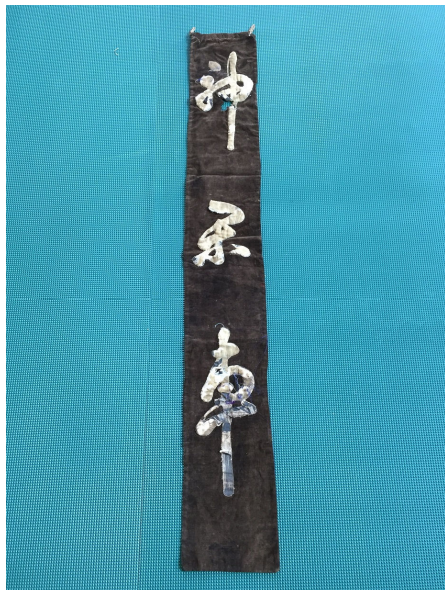
7月17日

○調査者

藤井健三氏(元京都市産業技術研究所繊維技術センター研究部長)

○調査結果

- ・紀年銘資料としては、額幕：明治14年(1881)、幕入箱：明治36年(1903)が確認された。
- ・幕類については、旧々幕・旧幕・現幕の3種の幕が確認された。
- ・旧々幕は明治14年～明治後半に製作され、これらを収納するため明治36年(1903)に幕入箱が製作された可能性がある。
- ・旧幕は昭和58年頃に製作されたと考えられる。また仕様の差異から、正式な幕の新調までの仮用として製作されたとみられる。
- ・現幕は平成2年前後の製作とみられる。
- ・現在の尾張型の山車は前後左右の四面に分けて胴幕などを懸けているが、大湫の山車の胴幕は前面を除く三方を引き回して懸ける一枚物の幕であり、古様な形を呈している。



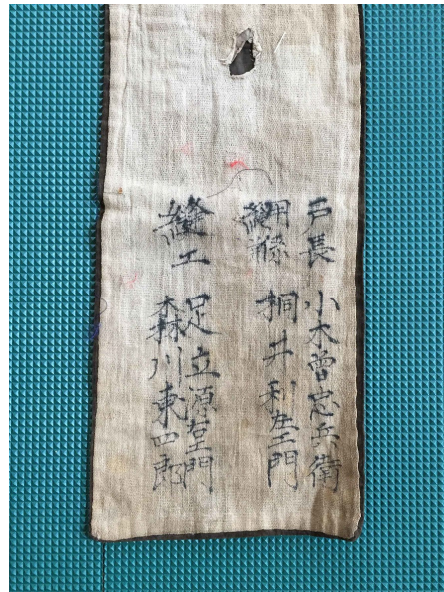
額幕 (表)



額幕 (裏)



額幕（裏 拡大①）



額幕（裏 拡大②）



幕入箱全景



幕入箱・蓋

■ 祭礼行事の記録作成

- 調査日：9月17日、10月6・7日
- 調査者：南本有紀氏（岐阜県博物館学芸員）
- 調査結果：（調査レポート作成中）